

天然物由来新規細胞溶解活性物質の 農薬・医療への応用

食環境科学部 食環境科学科

宮西 伸光 教授 Nobumitsu Miyanishi



研究概要 血球溶血活性および細胞溶解活性を有するツノロウムシ由来のポリペプチドの提供および、農薬・医療・診断への応用

研究シーズの内容

自然界に生息する昆虫“ツノロウムシ”から、新規の研究溶血活性および細胞溶解毒性を有する新規成分を明らかにしました。本成分を用いた様々な産業への応用開発を進めており、低環境負荷の農薬開発、抗感染症薬の開発、病態診断などの医療応用などが期待されます。人や畜産への害は無く、応用範囲の広い成分として有用性の高い成分と考えられます。

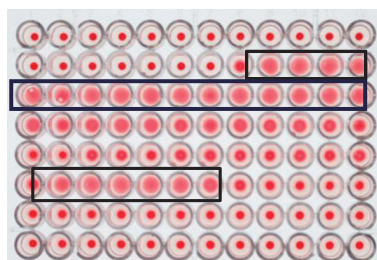


図1 血球溶血活性

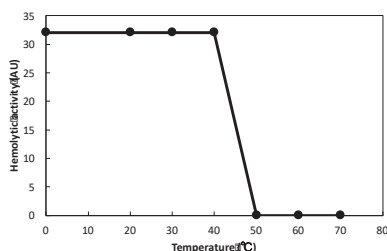


図2 血球溶血活性の温度安定性

研究シーズの応用例・産業界へのアピールポイント

天然物由来新規農薬開発、循環器系医療関係、食品加工用添加物、細胞内容物抽出用試薬

特記事項(関連する発表論文・特許名称・出願番号等)

特許第 6512681 号「カイガラムシ由来のポリペプチド」